

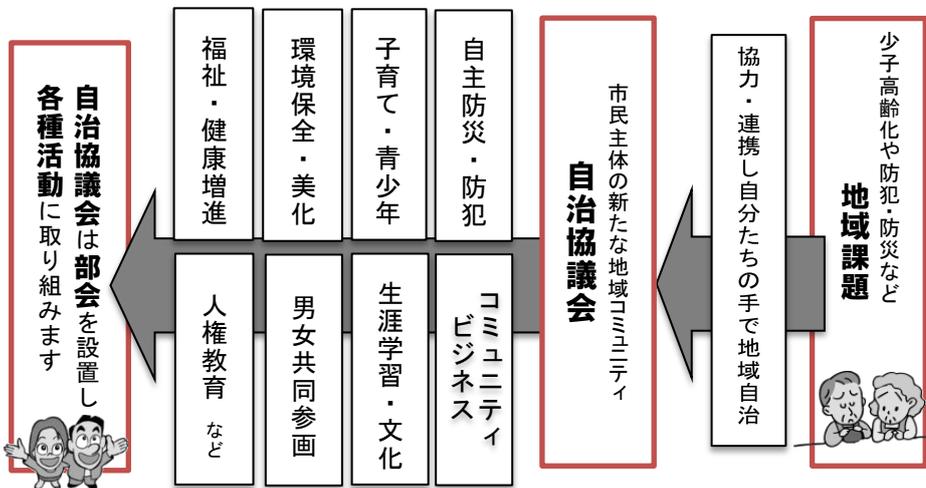
広がっています

私たちが築く
幸せ感じる地域

協働の まちづくり



●問合せ 市民協働推進課
コミュニティ支援係 Tel.75-4982



■自治協議会の活動イメージ

うきは市では、自治協議会によるまちづくりを推進しています。「自分たちの地域は自分たちでつくる」を基本に、地域の実態に応じ、行政区や地域の団体、市がそれぞれの個性や能力を生かした、市民主体のまちづくりを進めています。

■特色ある地域活動

次の一歩踏み出す自治協議会

平成26年度に市内11地区において自治協議会が発足しました。今年度は昭和30年代から続いていた市長（当時は町長）からの区長委嘱が廃止され、行政区が改めて自治協議会組織の構成団体となった、新しい自治協議会誕生の年とも言えます。

これまでの地区公民館が新たにコミュニティセンターへと変わり、公民館活動を継承発展しながら出発した各地区の自治協議会。発足から4年を迎え、これまでの生涯学習活動以外にも特色ある取組が始まっています。

これからも「協働のまちづくり」の精神のもと、地域の皆さんと共に進んでいきますので、自治協議会へのご協力、ご支援をよろしく願います。



▲ハゼについての学習
福富地区自治協議会の通学合宿



大石

OISHI



お手伝い「してほしい」「したい」 をつなぐ住民型有償サービス

「高齢で家事が難しくなった」、「地域のために何かしたい」。そんな声をきっかけに、日常作業を有償で支え合う互助組織「おおいし絆クラブ」を設立。一人暮らし高齢者等を対象に蛍光灯交換や買い物代行、庭の草刈りなどをサービス利用料30分300円で支援しています。コミュニティビジネスの一手法としても注目されています。

御幸

MIYUKI



▲心待ちにしていた、御幸小6年生との交流会

小学生との交流広がる いきいきサロン

生きがいと健康づくり等を目的として、高齢者が毎週木曜日に集う「いきいきサロン」。体操や趣味・教養のほか、小学生に対する掛け算の学習指導などに自主的に取り組み、サロン受講生の知識と経験を生かした世代間交流が展開されています。

小塩

KOJIO



▲乱舞するホタルが連想されるデザイン

ブランド米販売で農業守る

耕作放棄地増加や農業の担い手不足に着目。地元産「小塩ほたる米」を自分たちで包装し、道の駅うきは等で販売中です。米販売で農地活用が進めば、耕作放棄地や離農者を減らし、山里の風景を保つことが期待されます。また、田植え、稲刈り、そば打ち等の体験会を開催し、交流を通して「魅力あふれる小塩」を発信しています。

吉井

YOSHI I



▲「地域での支援を考える」合同情報交換会

行政区マップ作成と 合同情報交換会

地域の高齢者等への支援や、防犯防災を目的とした空き家の把握のため、区長さん方の協力のもと行政区マップを作成しています。また、区長・民生委員・福祉委員合同で情報交換会を開催し、地域の高齢者等の情報共有を行いました。